

杉並区バリアフリー基本構想（案）の修正一覧

別紙2

区民等による修正は、網掛けで記載

No	頁	項目等	バリアフリー基本構想案	修正内容（修正は下線部）	修正理由
1	17	鉄道駅のバリアフリー化状況の表	_____	CPラインの欄を追加する。	より適切な表現に修正
2	17	鉄道駅のバリアフリー化状況の表	京王線八幡山駅 エレベーター改札外 <u>○（＝設置済）</u>	京王線八幡山駅 エレベーター改札外 <u>—（＝設置対象外）</u>	誤記による修正
3	19	(2)道路 音響信号機、エスコートゾーン	区内の横断歩道における音響式信号機、エスコートゾーン*は、順次整備が進められています_____。 _____。	区内の横断歩道における音響式信号機、エスコートゾーン*は、 <u>順次整備が進められていますが、関係機関と連携しながら、当事者の意見を踏まえた適切な整備を進めていくことが必要です。</u>	より適切な記述に修正
4	20	(5)教育啓発・心のバリアフリー	バリアフリーに関する教育については、小学校・中学校の総合的な学習の時間において、バリアフリーやユニバーサルデザインについて学び、子ども達自身が調べたり体験できる授業を実施しています。_____	バリアフリーに関する教育については、小学校・中学校の総合的な学習の時間において、バリアフリーやユニバーサルデザインについて学び、子ども達自身が調べたり体験できる授業を実施しています。 <u>また、施設利用者等への心のバリアフリーを推進するため、区職員や公共交通事業者等を対象とした教育啓発が求められています。</u>	より適切な記述に修正
5	23	交通バリアフリー基本構想における重点整備地区（高円寺地区） ○鉄道駅	また、交通バリアフリー基本構想の目標年次であった平成24（2012）年度時点では、エレベーターの設置はJR高円寺駅と新高円寺駅のみとなっていました。_____平成25（2013）年度には東高円寺駅でも設置が完了し、鉄道駅のバリアフリー化が大きく進みました。	また、交通バリアフリー基本構想の目標年次であった平成22（2010）年度時点では、エレベーターの設置は <u>高円寺駅のみ</u> となっていました。平成24（2012）年度には <u>新高円寺駅で</u> 、平成25（2013）年度には東高円寺駅でも設置が完了し、鉄道駅のバリアフリー化が大きく進みました。	誤記による修正

6	30	(2) 道路 ○安全な歩行環境の確保	また、視覚障害者の移動の円滑化のため、視覚障害者誘導用ブロックの設置や改善、連続性の確保に努めるとともに、ユニバーサルデザインに配慮した案内標識の整備や、休憩のためのベンチの設置を検討していきます。	また、視覚障害者の移動の円滑化のため、視覚障害者誘導用ブロックの設置や改善、連続性の確保に努めるとともに、ユニバーサルデザインに配慮した案内標識の整備や、休憩のためのベンチの設置を検討していきます。 <u>車いす使用者等が安全に移動できる空間の確保については、道路移動等円滑化基準や、東京都福祉のまちづくり条例に基づき、横断歩道に接続する歩道部の段差解消などを図っています。引き続き、歩道の切り下げ部などにおいても基準等に基づき、車いす使用者やベビーカー利用者、視覚障害者等の安全確保に努めます。</u>	区民等の意見提出 手続の意見を踏まえ、より適正な表現に修正
7	33	(6) 交通安全	音響式信号機について、区民からの要望や利用実態を踏まえて、 <u>        </u> 鳴動時間の延長、待ち時間表示など、バリアフリー対応信号機の設置を計画的に推進していきます。	音響式信号機について、区民からの要望や利用実態を踏まえて、 <u>適切な音量調整や鳴動時間の延長、待ち時間表示など、バリアフリー対応信号機の設置を計画的に推進していきます。</u>	区民等の意見提出 手続の意見を踏まえ、より適正な表現に修正
8	34	(7) 教育啓発・心のバリアフリー ○心のバリアフリーの啓発	○心のバリアフリーの啓発 高齢者や障害者などが抱える日常生活における困難さや不自由さを誰もが理解し、駅や施設など様々な場所で支え合えるよう、ポスター等による啓発やヘルプマークの配布など、「心のバリアフリー」の啓発を行います。	○心のバリアフリーの啓発 高齢者や障害者などが抱える日常生活における困難さや不自由さを誰もが理解し、駅や施設など様々な場所で支え合えるよう、ポスター等による啓発やヘルプマークの配布など、「心のバリアフリー」の啓発を行います。 <u>また、施設管理者等は施設職員へ、心のバリアフリーの普及・啓発を推進します。</u>	区民等の意見提出 手続の意見を踏まえ、より適正な表現に修正
9	34	(7) 教育啓発・心のバリアフリー ○「心のバリアフリー協力店」の普及啓発	～対応を行う店舗に対して、「心のバリアフリー協力店」として認定し、 <u>ステッカーを配布し広く区民に周知します。</u>	～対応を行う店舗を「心のバリアフリー協力店」として認定し、 <u>ステッカーの配付・掲出や区ホームページで紹介するなど、広く区民に周知します。</u>	より適切な記述に修正
10	109	(2) 交通バリアフリー基本構想における高円寺駅周辺重点整備地区	計画期間：平成15（2003）～ <u>24（2012）</u> 年度	計画期間：平成15（2003）～ <u>22（2010）</u> 年度	誤記による修正
11	—	本文中	<u>出典元の資料から集計・作成している図表</u>	<u>「出典」標記を削除し、「～より作成」に統一する。</u>	分かりやすくするため修正